IMC1996の開催について

Announcement of IMC1996

原田 征喜*

すでに会誌とともにお配りした Call for Papers や、インターネットの news. announce. conferences あるいは、<http://www/iao.fhg.de/library/conferences> でご承知のように、IMC1996 (International Microelectronics Conferences1996) を1996年4月24日～26日の3日間、大宮ソニックシティで開催します。

1980年の第1回よりヨーロッパと交互に開催し、日本におけるIMCは数えて第9回目になります。常に、全発表の20%～30%が海外からの発表であり、日本で開催される唯一のマイクロエレクトロニクス実装技術の国際会議として、その位置づけは、内外に確固としたものになっています。

開催地には便利さ、新しさ、雰囲気共に皆様にご好評だった前回と同じ大宮のソニックシティを選びました。

* Seiki Harada

日立化成工業㈱/Hitachi Chemical Co., Ltd.

IMC1996 組織委員会 委員長

東京からわずか30～45分、大宮駅前から一直線に Minneapolis の“Sky-Walk”を思わせる歩道が会場に通じています。

さて、今回も、Call for Papersにあるように、材料、部品、設計、パッケージ、接続、信頼性、冷却、製造、プロセスなど、実装に関わる広い範囲での論文を募集しています。この会誌がお手許に届く頃は、まさにアストラクトの締切(9月30日)間近かと思いますが、ぜひ、皆様からの応募をお待ちしています。

大競争時代、価格破壊時代といわれる今日、軽薄短小化への圧力はいぜんとして大きく、とりわけ電子機器における実装技術分野に対する注目は相当高いものがあります。ご存知のように一口で実装といいますが、関連する技術範囲は極めて広く、かつまた広い視野にわたるアプローチがますます重要になってきております。

前述のような多岐にわたる分野を網羅したIMC1996において、海外からの参加者をはじめ多くの方々と自由に討議ができることは、新しい知見と情報を得るに最高

大宮ソニックシティ案内図

IMC1996開催要領

- 名 称——IMC1996 (International Microelectronics Conference 1996)
- 主 催——エレクトロニクス実装技術協会 (社団法人 SHM)
会長 川西 剛
- 後 援——電気学会, 電子情報通信学会, IEEE CPMT 東京支部, 応用物理学会, 日本セラミックス協会,
電気化学協会, テレビジョン学会, 回路実装学会, 日本電子機械工業会, 日本電子材料工業会, 日
本電子工業振興協会, 日本電子材料技術協会, 関西電子工業振興センター (交渉中を含む)
- 組織委員会——IMC1996組織委員会 委員長 原田征喜 (日立化成工業㈱)
- ・同所在地——東京都文京区本郷5-24-6 本郷大原ビル SHM 内, (電話) 03-5802-5366
- 開催期日——1996年4月24日(水)～4月26日(金)
- 開催場所——大宮ソニックシティ
- 論文募集分野——Design
CAD, CAM, Simulation & Modeling
Materials/Processes
New Materials & New Material Process for Electronics
Thick and Thin Film, Polymer Technology & Substrates
Displays
LCD, LED, EL, PDP, VFD, New Display
Components/Devices
Surface Mount Devices, Multi-function Components,
Sensor, Microwave Devices & High-power Devices
Interconnections
COB, COG, CCB, TAB, Wirebonding, Soldering, Adhesives & other Bonding
Packaging
Discrete Package, New Package (CSP, BGA), Multichip Module,
Silicon on Silicon, WSI, High-speed and High-density Packaging
Optoelectronics/Optical Modules
Optical Materials, Optical Components, Optical Waveguide,
Optical Interconnection, Optical Data Link & Optoelectronics Packaging
Reliability/Testing
Failure Analysis, Testability & Burn-in System
Thermal Management
Thermal Analysis, Cooling system, Air/Liquid/Conduction Cooling & Design
Applications
Consumer, Industrial, Personalized Electronics, Computer, Communication,
Automotive, Medical & Microwave
Manufacturing
CIM, CAM, Hybrid Processing, Inspection and Quality Control,
SMT Manufacturing & Assembly Process Equipment
Business Trends/Technical Trends
Other Area of Interest
- 公 用 語——英語
- 論文発表——①アブストラクト提出 英文500word, 5部 (締切日: 1995年9月30日)
- 申込要領 ②論文審査 採否通知 1995年11月20日
③本論文原稿 締切日 1996年1月30日

の機会かと思ひます。

この機会を逃すことなく、ぜひ多くの方々からの発表および参加をお願いします。

また、マイクロエレクトロニクスショーも同時に開催が予定されています。そこでは、製品説明会なども計画されており、こちらについても出展募集中ですので、事務局にお問い合わせください。

SHM では、マイクロエレクトロニクス技術の普及・

研鑽に寄与する活動として、この最大のイベントであるIMCの他にMES (Microelectronics Symposium)、SHM ワークショップ、エレクトロニクス実装技術研究会、エレクトロニクス実装技術基礎講座など多くの事業活動を行っていますが、相互啓発、情報交流の場としての会議は、特に会員の方々の積極的な参加がその成功の鍵となります。多くの会員の皆様と、来年4月、IMC1996でお会いできることを楽しみにしています。